

記に写真でしめしてみよう。

じょうずな者

写真1

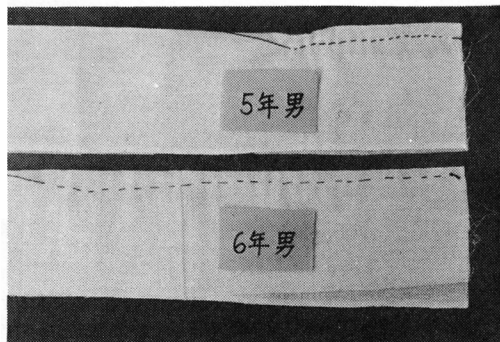


写真2

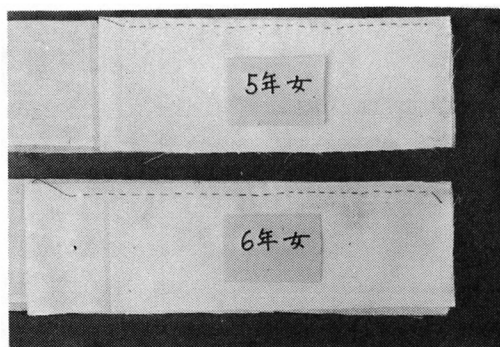
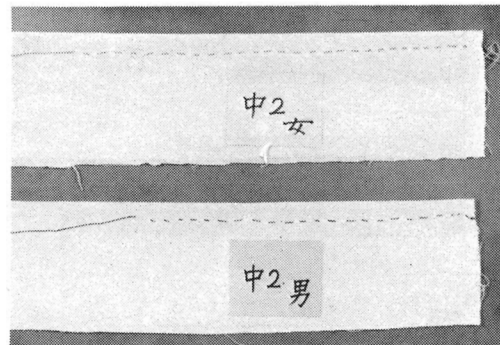


写真3



まずい者

写真4

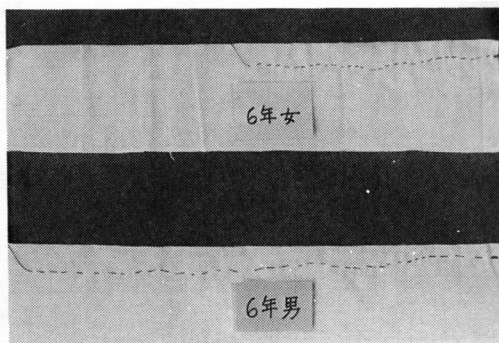
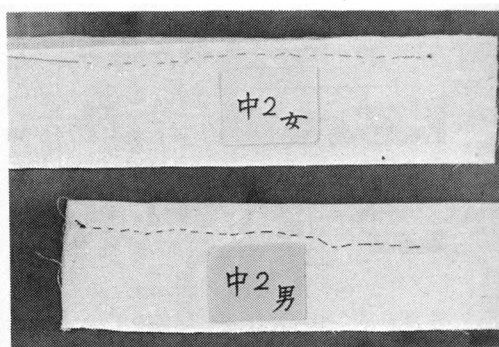


写真5



※中・2男は、左ききのまずさも加っている。

④ 針目は、0.5cmぐらいとし、ぬい方は師範してやらせたものである。

本ぬいの早さのはやいものが、美しくできているのが一般に認められるが、全部が一致しているとは限らない。しかし逆に遅い児童が、できあがりかきたないともいえない。

遅くとも美しく仕上げる児童もいるが、相対的にみると、遅い子は、やり方がわからない、作業手法操作がなれていない、ぬった経験が少ないなどで、長さで、5cm～47cmまでの差であり、個人差は、9倍ぐらい大きく開いてしまう。学年間の差は、6～3倍のひらきがでており、技能発達に大きな違いがみられることが判明した。